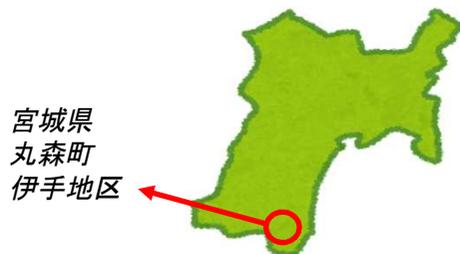


産地生産基盤パワーアップ事業の取組事例(平成28~29年度:丸森町水田農業推進協議会)(宮城県)

取組の概要

取組の概要 : 水稲の低コスト生産の推進
 計画作成主体 : 丸森町水田農業推進協議会
 対象品目 : 水稲(産地面積30ha)
 主な取組主体 : 農事組合法人 伊手ファーム
 成果目標 : 水稲の生産コスト10%以上の削減
 助成金の活用状況 : 生産支援事業(乾燥調製機械等)



ポイント

【産地の課題及び取組方向】

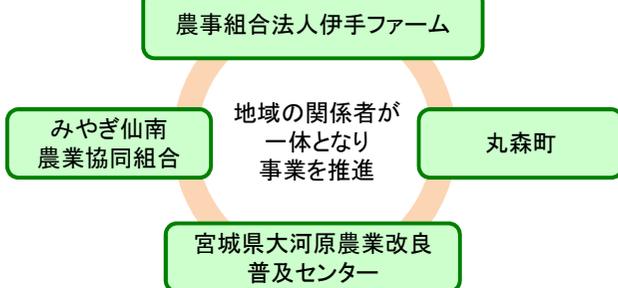
集落営農組織へ農地集約を図るとともに、乾燥調製作業等の機械作業の集約化、疎植栽培の導入を行うことにより、産地としての水稲の生産コストの10%以上の削減を実現する。



【産地の体質強化に向けた方策】

- ① 集落営農組織への土地集積
- ② 中心的経営体による乾燥調製作業及び機械作業の集約化
- ③ 疎植栽培の導入

産地体制



地域における独自の取組

〈主な取組〉

集落営農組織へ農地集約, 疎植栽培の導入。

取組成果

【事業実施による直接効果】

・水稲について、乾燥調製機械等を導入することにより、直接労働費や農機具費等の生産コストが削減。



**生産コストが
23.7%減少
(達成率114.6%)**

